

都市再生整備計画

ほそちく
細地区

おおいた おおいた
大分県 大分市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	おおいたし 大分市	地区名	ほそちく 細地区	面積	39 ha	
計画期間	平成	24 年度 ~	平成	28 年度	交付期間	平成	24 年度 ~ 平成	28 年度

目標

大目標:若者にも高齢者にも魅力的で安全・安心で活き活きとした細のまちづくり

- 目標1:便利・安全・安心のまちづくり
- 目標2:いきいき・にぎわいのまちづくり
- 目標3:ふるさとの資源を活かすまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

[細地区の位置づけ]

・大分市細地区は、別府湾南岸の臨海工業地に沿って東西にのびる市街地の東端に位置している。かつては、別府湾での漁業及び本田川沿いに開けた農地での農業を営む農漁業集落として形成されたが、海岸部の工業用地埋め立てに伴う漁業の衰退などを通して、現在は約300戸(人口663人)を擁する住宅市街地となっている。

[まちづくりの経緯]

- ・大分市では、別府湾沿いに展開する臨海工業地帯の背後地において、土地区画整理事業などにより良好な市街地形成を進めてきた。細地区西側に隣接する坂ノ市地区においても、土地区画整理事業により道路網や公園などが整備されている。
- ・本地区は、日豊本線坂ノ市駅より東方2kmに位置し、現在のところ典型的な地方集落の様相を呈しており、既存住宅において生活基盤施設の整備が立ち遅れていることから、安全快適な居住環境とは言えない状態である。
- ・このことから地元より土地区画整理事業の陳情が提出されたが、市の財政事情、地元負担を考慮し、住環境整備事業として各種公共施設の整備改善をおこない、良好な市街地の形成を目指している。

[細地区の現況]

・細地区では、この10年間に94人の人口減少(総人口の約12%の減少率)があり引き続き減少傾向が続いている。ただし、世帯数の増減はほとんど無く、各世帯内での若年世代の地区外流出が人口減少を引き起こしており、結果として高齢化が進み地区内での高齢者比率は約4割に達している。

課題

本地区における若年世代の流出の原因は、農漁業の衰退などによる地元での雇用環境の不備が主因であるが、道路網等の都市基盤未整備による自動車利用の不便さなどが、若年世代の流出に拍車をかけている状況にある。また、道路網の未整備による消防活動の制約など防災面での課題も抱えており、生垣や祭りなどの地区固有の資源を活かしながら生活環境の整備を進め、若年世代の定着と高齢者も含めた地区住民の日常生活の活性化を図ることが強く求められている。このような中で本地区における課題としては以下が挙げられる。

- 防災を考慮した道路網の整備(地区内において、既存の道路を活用した消防活動等を円滑化へ促す道路整備。)
- 排水不良区の解消(排水不良区を主体とする雨水の排水対策。)
- 地区コミュニティ活動の継続(生きがい醸成につながる、各種コミュニティ活動の継続や新たな活動おこし。)
- 公園・広場等の整備(地区内における一定規模の公園等の整備。)
- 地域資源の活用(地区の歴史性を象徴する神社・寺院など、地区の歴史の伝承とその活用。)

将来ビジョン(中長期)

- ・住環境整備に関わる多面的な取り組みを通して、防災・防犯・交通事故等の危険が少なく安全・安心、かつ地区のコミュニティが確保され多様な世代が活き活きと暮らす細地区を目指していく。
- ・「大分市都市計画マスタープラン」においては、「市街地の整備方針」の項において、「細地区等の密集市街地や狭隘道路地区等において、安全・安心な市街地整備改善を図るため、都市施設の整備状況や住民の意向等を踏まえながら、住環境整備事業等を推進します」と位置づけられている。また、地区別構想においても、「細地区では、生活道路の改善などによる計画的な住環境の整備を推進します。」と位置づけられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
市街地内における防災性・利便性の向上	%	消防自動車が行き可能な幅員6m以上の道路に接道する建物の割合	生活幹線道路(防災道路等)の整備により、市街地内での防災性向上ならびに若者定着に向けた生活利便性の向上が見込めるため指標とし、消防自動車の通行可能な幅員6m以上の道路に接する建物の割合の約9%(棟数にして約50%アップ)の向上を目指す。	16%(103棟)	平成23年度	25%(159棟)	平成28年度
コミュニティスペースに関する地域ボランティア活動の開催数の増加	回/年	公園等のコミュニティスペースに関する清掃・美化活動の開催回数(自治会ヒアリングによる)	ポケットパーク整備やまちづくりに関するワークショップ、まちづくりPR活動でのまちづくり意識の醸成により地域交流の促進に向けた地域ボランティア活動の促進が見込めるため指標とし、約100%の向上を目指す。	25回/年	平成23年度	50回/年	平成28年度
地区の歴史・地域資源について知らない方の割合の減少	%	地区の主要な歴史・資源について知らない方の割合(地区住民アンケートによる)	地区の歴史・文化の伝承、地区に対する愛着の醸成に向けて、住民ワークショップによる歴史文化記録づくり、地区マップの作成、案内サインの設置等により、地区の主要な歴史・資源に対する認知度の向上が見込めるため指標とし、従前値に対して約10%の向上を目指す。	ほとんど知らない方の割合 62%	平成23年度	52%	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 便利・安全・安心のまちづくり</p> <p>地区内の道路網は旧来のままで残されており、狭い幅員と屈曲した形状で自動車の乗り入れが困難な道路が多く存在する。このため、火災発生時の消防活動において支障を来す恐れがあり、また雨天時等での排水不良区を発生させている。一方、朝夕の通勤ラッシュ時には、国道197号や本田川沿い道路などの一部の道路に通過交通が流れ込み、通学児童などの交通安全の問題を生じさせている。</p> <p>このような問題の解決に向けて、地区内での骨格となる生活道路の拡幅整備を進めるとともに、これに伴う排水施設の整備を行う。</p> <p>また、大規模地震発生時の津波被害防止のため、海拔標示をおこなうことで避難判断基準及び地区住民等への啓発を図る。</p> <p>さらに、夜間の地区内道路は暗く、歩行者などの通行に支障があることから、防犯灯を設置し、交通安全及び防犯性の向上を図る。</p> <p>これらの対策により、地区住民が便利でかつ、安全・安心な日常生活を営めるようなまちづくりを進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■道路整備6-1号線、6-2号線、6-3号線(基幹事業/道路) ■津波標識設置 3箇所(基幹事業/地域生活基盤施設) □防犯灯設置事業 3箇所(提案事業/地域創造支援事業) □上水道施設整備事業 4箇所(提案事業/地域創造支援事業) □雨水排水施設整備事業 4箇所(提案事業/地域創造支援事業) □事後評価の実施に関する調査(提案事業/事業活用調査)
<p>整備方針2: いきいき・にぎわいのまちづくり</p> <p>集落としての長い歴史を持つ細地区においては、加茂神社の祭礼が季節毎に行われ、また農産物品評会など地域の産業に直結した催しも行われている。これらの催しは住民によるコミュニティ意識の醸成や地域文化の継承に大きく寄与しているが、実施場所としての神社や公民館などに制約があり、気軽に集まれる憩いの空間の確保が必要となっている。また、地区住民の高齢化に伴って、多くの人が健康な生活を維持していくために、運動やレクリエーション活動などが行える場所の確保も求められている。</p> <p>このような問題の解決に向けて、ポケットパークの整備を進め、地区住民が日常生活において気軽に寄りあって憩える場、多様な世代による交流の場として、住民相互の交流機会の拡大を進めていく。</p> <p>また、これらの企画検討のためのワークショップの開催等により、いきいきとにぎわいのあるまちづくりを推進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ポケットパーク整備事業 3箇所(基幹事業/地域生活基盤施設) □まちづくりに関するワークショップの開催(提案事業/まちづくり活動推進事業) □事後評価の実施に関する調査(提案事業/事業活用調査)
<p>整備方針3: ふるさとの資源を活かすまちづくり</p> <p>本地区は、土地区画整理事業が実施されなかったことで、大分市内でも歴史的な集落形態が残された数少ない集落の一つとなっている。かつては半農半漁村であり、布のりの生産や多くの瓦工場が操業する製造基地でもあったことなど、本地区固有の歴史的な価値を有することでは他の地区と比べて遜色はないが、地区の高齢化に伴い貴重な歴史の記録が少しずつ失われようとしている状況にある。</p> <p>このような問題の解決に向けて、かつての半農半漁村としての記録や地区内に点在する墓地や地蔵の由来、さらには地区の自然素材を活用した石垣や生垣の状況など、細地区の歴史・文化を地域の大事な資源として記録・記憶し、地区住民へ配信することにより、地区の歴史・文化の継承を図る。</p> <p>また、地区住民のワークショップにより細地区内を案内する地図を作成し、地区内でのサイン設置や紙面での配布を行う。</p> <p>さらに、地区内の歴史施設などに歴史や由緒を説明した施設案内板の設置を行う。</p> <p>これらの対策により、ふるさとの資源を活かしつつ細らしさを継承した、地域住民が自らの地域に誇りをもっていけるようなまちづくりを推進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史・施設案内板設置 3箇所(基幹事業/地域生活基盤施設) ■地区案内サイン設置 3箇所(基幹事業/地域生活基盤施設) □細の地区マップ、歴史・文化記録づくり事業(提案事業/地域創造支援事業) □まちづくりに関するワークショップの開催(提案事業/まちづくり活動推進事業) □事後評価の実施に関する調査(提案事業/事業活用調査)
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	736	交付限度額	294	国費率	0.399
---------	-----	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		6-1号線	大分市	直	336m	H24	H28	H24	H28	122	122	122	0	122
		6-2号線	大分市	直	332m	H24	H28	H24	H28	245	245	245	0	245
		6-3号線	大分市	直	314m	H24	H28	H24	H28	186	186	186	0	186
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		ポケットパーク1号	大分市	直	307㎡	H26	H26	H26	H26	14	14	14	0	14
		ポケットパーク2号	大分市	直	149㎡	H27	H27	H27	H27	4	4	4	0	4
		ポケットパーク3号	大分市	直	27㎡	H27	H27	H27	H27	3	3	3	0	3
		地区案内サイン設置 3箇所	大分市	直	—	H26	H27	H26	H27	3	3	3	0	3
		施設案内板設置 3箇所	大分市	直	—	H27	H28	H27	H28	2	2	2	0	2
		津波標識設置 3箇所	大分市	直	—	H26	H27	H26	H27	2	2	2	0	2
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人によさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										581	581	581	0	581

…A

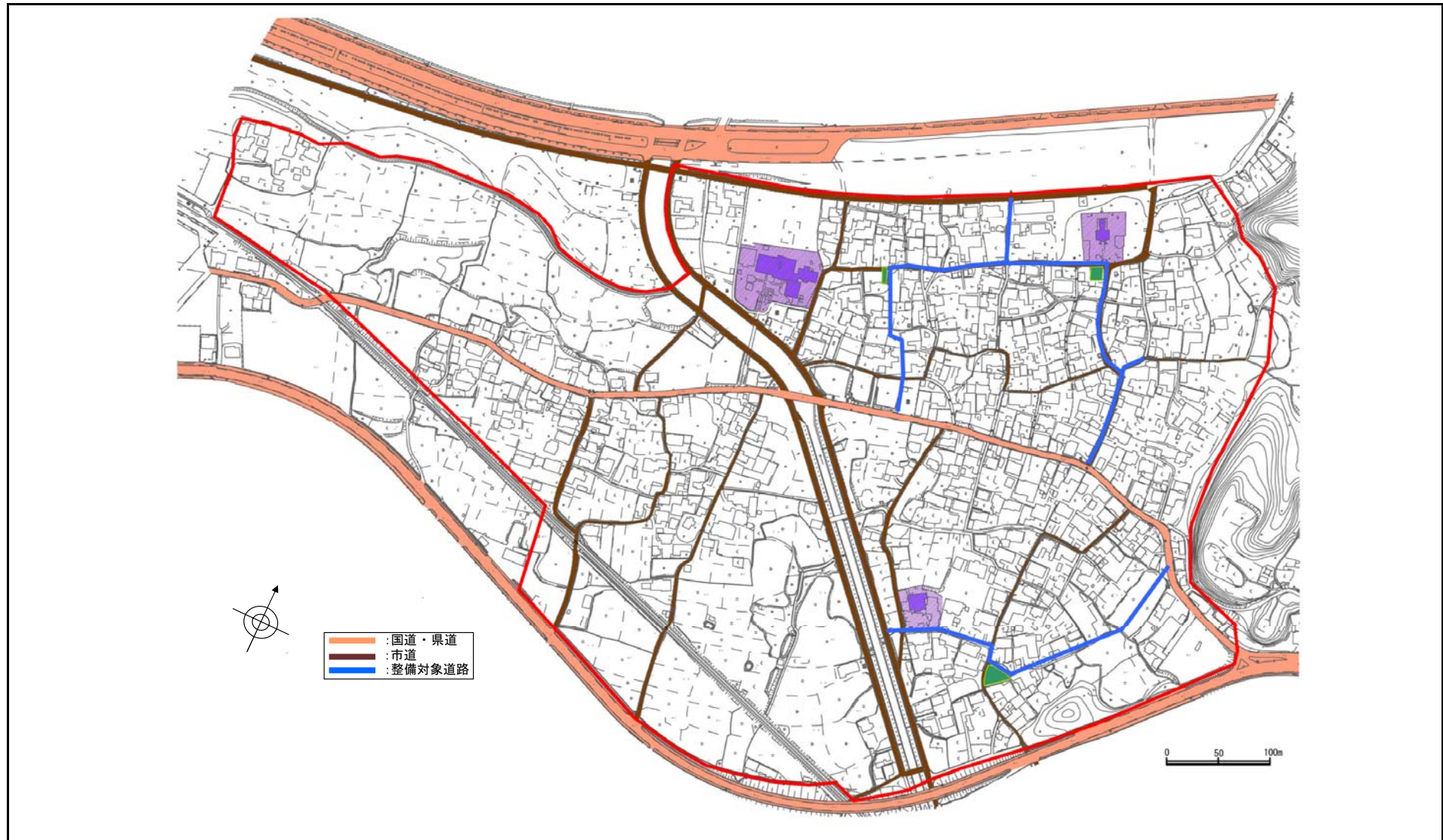
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	防犯灯設置 3箇所	ポケットパーク内	大分市	直	—	H26	H27	H26	H27	1	1	1	0	1
	細の地区マップ、歴史・文化記録づくり	—	大分市	直	—	H24	H28	H24	H28	5	5	5	0	5
	雨水排水施設整備	—	大分市	直	—	H25	H28	H25	H28	105	105	105	0	105
	上水道施設整備	—	大分市	直	—	H24	H28	H24	H28	34	34	34	0	34
事業活用調査	事後評価の実施に関する調査	—	大分市	直	—	H28	H28	H28	H28	5	5	5	0	5
	—	—	—	—	—									
まちづくり活動推進事業	まちづくりに関するワークショップの開催	—	大分市	直	—	H24	H28	H24	H28	5	5	5	0	5
	—	—	—	—	—									
合計										155	155	155	0	155

…B

合計(A+B) 736

都市再生整備計画の区域

細地区(大分県大分市)	面積 39 ha	区域 大字東上野字江川、字大藤、大字細字賀茂田、字賀茂田屋敷、字大藤屋敷、字釜原、字粟田、字才楽、字濱田、字濱屋敷、字河原田、字藪ノ平、字南屋敷、字赤迫、字南田
-------------	-------------	---



細地区(大分県大分市) 整備方針概要図

目標	若者にも高齢者にも魅力的で 安全・安心で生き活きたした細のまちづくり	代表的な 指標	市街地内における防災性・利便性の向上 (％)	16％(103戸) (平成23年度) → 25％(159戸) (平成28年度)
			公園等のコミュニティスペースに関する地域ボランティア活動の開催数の増加 (回/年)	25回/年 (平成23年度) → 50回/年 (平成28年度)
			地区の歴史・地域資源について知らない方の割合の減少 (％)	ほとんど知らない方の割合 62％ (平成23年度) → 52％ (平成28年度)

- : 国道・県道
- : 市道
- : 整備対象道路
- : 上水道施設
- : 雨水排水施設



□提案事業
上水道施設整備
地域創造支援事業)

■基幹事業
道路整備 (道路)

■基幹事業
ポケットパーク整備 (3箇所 地域生活基盤施設)

■基幹事業
地区案内サイン設置 (3箇所 地域生活基盤施設)

■基幹事業
津波標識設置 (3箇所 地域生活基盤施設)

□提案事業
防犯灯設置 (地域創造支援事業)

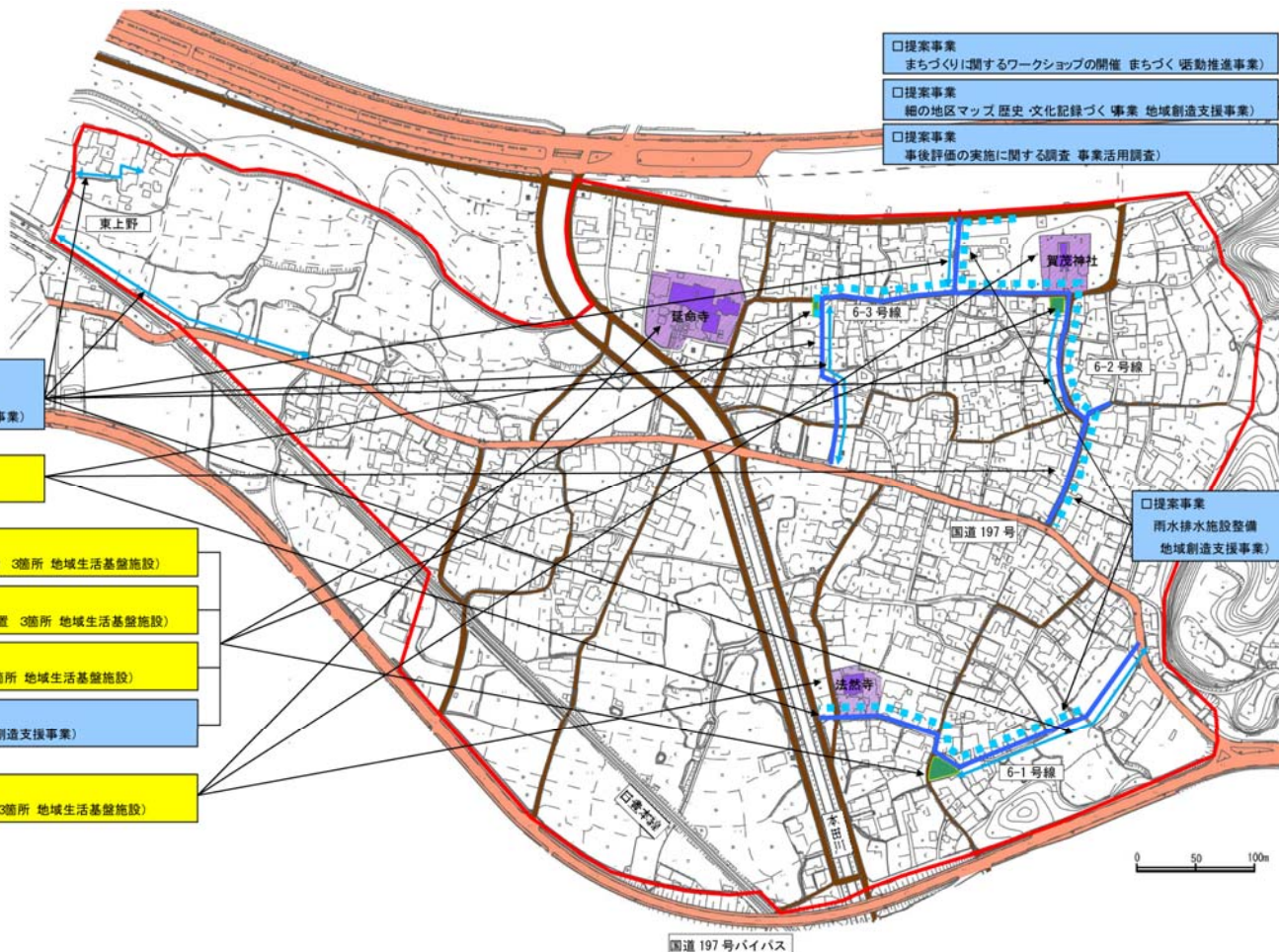
■基幹事業
施設案内板設置 (3箇所 地域生活基盤施設)

□提案事業
まちづくりに関するワークショップの開催 (まちづく 運動推進事業)

□提案事業
細の地区マップ 歴史・文化記録づく 事業 (地域創造支援事業)

□提案事業
事後評価の実施に関する調査 (事業活用調査)

□提案事業
雨水排水施設整備
地域創造支援事業)



- 凡 例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 細地区都市再生整備計画

事業主体名: 大分市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○